

令和7年2月26日

パネル展「原発事故14年 福島『避難』のかたち」を開催

福島大学地域未来デザインセンター相双地域支援サテライトは3～5月にパネル展「原発事故14年 福島『避難』のかたち」を岩手、東京、福島の3会場で開催します。原発事故の影響で古里や慣れ親しんだ土地から離れざるを得なかった8組9人の現在の暮らしと想いを、写真や記事を通して紹介します。

福島では原発事故から14年が経つ現在も県内外に多くの人々が避難しています。被災地は帰還困難区域を抱えながらも全ての自治体で居住可能になりましたが、散り散りにならざるを得なかった避難者の苦難が忘れられがちな現状は否めません。

本展では、原発事故の風化を防ぐため、古里や慣れ親しんだ土地から離れざるを得なかった人々の現在の暮らしと想いを、写真や記事を通して紹介します。

【実施概要】

■岩手展

日時：2025年3月1日(土)～10日(月) 9:00-22:00 (最終日17:00まで)

場所：大槌町文化交流センターおしゃっち(岩手県上閉伊郡大槌町末広町1-15)

※3/9(日)14:00～おしゃっち多目的ホールでトークイベント「福島と岩手 震災伝承のかたち」を開催。3/4(火)は休館。

■東京展

日時：2025年3月22日(土)～27日(木) 9:30-17:00

場所：練馬文化センターギャラリー(東京都練馬区練馬1-17-37)

※3/22(土)14:00～クラフトビレッジ西小山(東京都目黒区原町1-7-8)で南相馬市からの避難者、井上美和子さんの朗読劇「ほんじもよお語り」を開催。

■福島展

日時：2025年4月11日(金)～5月9日(金) 9:00-20:45 (最終日15:00まで)

場所：福島大学フクニチャージ図書館(福島市金谷川1)

※4/29、5/3-6は休館。

※各会場すべて入場無料

(お問い合わせ先)

福島大学地域未来デザインセンター

コーディネーター 佐藤 孝雄

電話：0240-23-6675

メール：r411@ipc.fukushima-u.ac.jp

パネル展

各会場
入場
無料

原発事故14年

福島「避難」のかたち

ふるさとから引き離された人たちの今、ありのまま

福島では原発事故から14年が経つ今も県内外に2万5千人以上が避難しています。被災地は帰還困難区域を抱えながらも全ての自治体で居住可能になりましたが、散り散りにならざるを得なかった避難者の苦難が忘れられがちな現状は否めません。

慣れ親しんだ地域から引き離されたままの人、戻らないことを選じた人、今は難しくて帰還の機会をうかがっている人、避難先とふるさととの絆を保とうと奮闘する人…。それぞれの事情や思い、「避難」のかたちは各人各様です。

本展では、原発事故の風化を防ぐため、当たり前の日常を過ごしていた土地から避難を強いられた人々のあの日からこれまでを、写真やルポルタージュで振り返ります。



photo/かつて避難指示区域だった大熊町野上地区の田園風景

岩手展 大槌町共催

2025 **3/1日** ▶ **3/10日** 3/4(火)は休館
9:00-22:00 (最終日は17:00まで)

会場：大槌町文化交流センターおしゃっち
岩手県上閉伊郡大槌町末広町1-15

3/9日 14:00~
トークイベント
「福島と岩手 震災伝承のかたち」開催
会場：おしゃっち多目的ホール

東京展

2025 **3/22日** ▶ **3/27日** 木
9:30-17:00

会場：練馬文化センター
東京都練馬区練馬1-17-37

3/22日 朗読劇「ほんじもよお語り」公演
14:00~ 会場：クラフトビレッジ西小山(東京都目黒区原町1-7-8)

福島展

2025 **4/11日** ▶ **5/9日** 金
平日 9:00-20:45

土日 **11:00-18:00** (最終日は15:00まで)
4/29、5/3-6は休館 ※開館時間、休館日も予定

会場：福島大学附属図書館
福島県福島市金谷川1

主催

福島大学地域未来デザインセンター
相双地域支援サテライト

相双地域支援サテライトは福島第一原発事故の被災地域と福島大学とをつなぐ現地の拠点として、2012年6月、川内村に開設。現在は富岡サテライトと浪江サテライトに職員を配置し、被災12市町村を対象とした支援活動を行っています。



相双地域支援サテライト
キャラクター
そうそうくん

お問い合わせ

福島大学地域未来デザインセンター 相双地域支援サテライト

〒979-1112 福島県双葉郡富岡町中央2丁目83 とみおかワーキングベース 2 J TEL : 0240-23-6675 e-mail : r411@ipc.fukushima-u.ac.jp



パネル展
原発事故14年
福島「避難」のかたち
関連企画



井上美和子さん

文筆朗読家。福島県浪江町生まれ。2011年3月12日に当時2歳と4歳の子供を車に乗せ、南相馬市の自宅を離れ現在は京都府に避難中。

2019年秋に井上美和子作・朗読「ほんじもよお語り」を京都で初演。以来、東京・熊本・岡山・仙台・長野・福島他全国各地で上演。

代表作「豆を煮る」「紅梅の木」「告白」「あたりまえ」他。

2022年ギャラクシー賞奨励賞受賞の関西テレビ制作番組「ザ・ドキュメント〜もやい福島に吹く風〜」でナレーションを担当。

井上美和子朗読劇

ほんじもよお語り

「ほんじもよお」とは、朗読劇を演じる井上美和子さんが生まれ育った福島県浪江町の山あいの方言で、「そうは言ってもよ」の意です。福島の大が未曾有の原発事故に見舞われて14年。同県南相馬市から京都府綾部市に避難した井上さんが、生まれ故郷を失った悲しみや切なさ、泣き笑いの情感を温かなふるさとの言葉に乗せて語りかけます。

原発事故に襲われた

ふるさとの言葉で演じる

観覧
無料

2025.3.22 土 14:00 開演

クラフトビレッジ西小山

(東京都目黒区原町1-7-8) 東急目黒線西小山駅徒歩1分



申し込みは
こちらから
当日観覧も歓迎